

目標達成計画

作成日: 平成 28年 11月 25日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	○事業所と地域のつきあい ホームから出る為には付き添い人員が必要であるが、増員することが大変困難である。	○地域行事等に参加出来るようにヘルパーの調整を行う。 ○入所員全員が地域と関わりが持てる機会を提供する。	○ゴミ出しや散歩に出かける。 ○地域の“高齢者支援の会”の朝の体操に参加する。 ○地域の催し(草取り・祭り・防災訓練等)に参加する。 ○デイサービスの利用者を増やし、外部の人や関係者との出会いを楽しむ。 ○当ホームの催しに地域や近隣施設からの参加を呼びかける。 ○他施設の行事に参加する。 ○ホームの新聞を近隣住民に配布する。 ○オレンジカフェを1/月開催し、地域の方との交流を図り相談に応じる。	12ヶ月
2	35	○下肢筋力低下が顕著である入居者様を緊急時に如何に安全に避難させられるか？	○昼夜を問わず緊急避難が出来る体制を作る。	○昼間の想定での訓練は行っているが、特に夜間の一人体制での緊急時の対応について訓練を行なう。誘導避難した入居者を近隣の安全な駐車場に集め近隣住民に見守りをして頂く(平成28年12月初旬訓練予定)	12ヶ月
3	38	○日々のその人らしい暮らし 徐々にADLの低下が見られ転倒による骨折事故が起きたこともあって、心ならずも安全を重視する大勢になってしまう。	○ADLの低下の防止を目的に、安全かつ活動的な生活を送る。	○会話を密に行い、各除個人の暮らしの満足度を聞き取り、笑顔で暮らせるよう支援内容を日々検討する。各々の生活暦に応じた役割を持ち、充実感や必要とされているという気持ちを持って生活できる。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。